

支部行事のご案内

支部研究会

神戸低侵襲がん医療センターを目指すがん医療

日時: 9月21日(土) 14:30~16:30

会場: 保険医協会会議室

講師: 神戸低侵襲がん医療センター院長
藤井 正彦 先生

お申し込み・お問い合わせは、078-393-1817 納富(ノウトミ)まで

神戸支部第34回総会

<記念講演>

医療否定ブームをどう考えればいいのか

日時: 10月19日(土) 14:30~16:30

会場: 保険医協会会議室

講師: 神鋼病院附属神戸ドック健診クリニック
村田 幸生 先生

お申し込み・お問い合わせは、078-393-1801 横山・沖野まで

協会の共済制度をお勧めします!

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか?

休業保障制度

好評受付中!

- 1. 最長730日の長期保障
- 2. 自宅療養、代診をおいても給付
- 3. 掛金は満期まで上がりません
- 4. 掛け捨てではありません
- 5. うつ病等の精神疾患、認知症も給付
- 6. 妊娠・出産に起因する併発病、帝王切開も給付
- 7. 弔慰・高度障害給付あり
- 8. 所得補償保険との重複受給OK

休業保障制度は、保険医協会会員のための助け合い共済制度です。



ご家族、スタッフも
加入いただけます

所得補償保険

精神疾患による就業不能も補償
/入院は初日から、自宅療養は
5日目から補償 / 通算1000日
補償 / 天災によるケガも補償

団体定期生命保険 **グループ保険** ■過去5年平均47%配当 ■加入者数5000人 ■断然安い保険料

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

兵庫県保険医協会

262号 2013年8月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

新規開業医交流会「開業立ち上げ期の増収・増患対策セミナー」

医院の成長のポイントを学習



開業数年の医療機関を中心に15人が参加

神戸支部は8月3日、協会会議室で新規開業医交流会「開業立ち上げ期の増収・増患対策セミナー」を開催、会員医療機関から15人が参加した。上田公認会計士事務所の野村憲太郎税理士が「新規開業医の成長事例から読み解く増収・増患対策」をテーマに、また響総合法律事務所の西川研一弁護士が「医療機関でおさえおきたいトラブル事例とその対策」をテーマにそれぞれ講演した。

野村税理士は医院の開業・経営支援についての豊富な事例から、具体的なデータを示して講演。効果的な広告の活用法や患者満足度向上のための注意点、収支

の分析から節税対策まで幅広く紹介。倫理や理念などの不変的な価値観を基本に、社会の変化や医院の成長にあわせた将来のビジョンをもつことが重要だと強調した。

西川弁護士は医業をめぐるトラブル要因となるリスクにどのようなものがあるのかを概説。個別に事例を示し、法律や判例を踏まえた診療や対応の過程での注意点を解説した。万一の際にはすぐに専門家に相談すべきと呼びかけた。

質疑では法人化のメリット・デメリットなど自院の状況を踏まえた具体的な質問が出され、活発に交流した。

会 員 投 稿 かざみどり通信 13



反核・脱原発の連帯を

—「日韓反核医師交流の旅」参加記

加藤 擁一 先生(須磨区・加藤歯科クリニック)



市民団体とも日韓の原発をめぐる情勢や運動を交流した



金益重氏が韓国の現状を詳解しお互いの運動を激励

「日韓反核医師交流の旅」に行ってきた。この旅は、昨年9月京都で行われた反核医師の会近畿懇談会で講演していただいた金益重(キム・イクチュン)氏(韓国東国大学医学部教授)との、再度の交流の約束で実現したものである。

13日、釜山空港で金氏と合流し、バスで慶州(キョンジュ)近郊の月城(ウォルソン)原発の視察に行った。車中、金氏は今年6月から、国の原子力安全委員に任命されると自己紹介をされた。「推進派が多数で大変」とのことだが、反核活動家が参加すること自体画期的で、運動と世論の盛り上がりがかうかがい知れる。

韓国では原発関連の不正が頻発しており、釜山の古里(コリ)原発では、昨年2月全電源喪失という重大事故が発生したにもかかわらず、1カ月も隠蔽していたことが明るみに出た。日本ではほとんど報道されなかったが、福島への舞寸前の事態には慄然とする。ぜひとも韓国

民の立場に立っての奮闘をお願いした。見学した月城原発も、古里原発と同様の古い原発で、1号機は昨年末で稼働30年の設計寿命を迎え、停止中である。老朽化しており、運転中はトラブルが多発していたとのことだが、プラント側は、何とか運転の延長をしたい意向のようだ。金氏の話では、当面この原発を再稼働させるかどうか、焦点だという。月城は新羅時代の古都・世界遺産の慶州から20キロメートル、日本で言えば京都や奈良の近郊にあたる場所だ。無謀な運転再開を絶対しないよう、私たちも強く要望した。

同日夜の浦項(ポハン)市と翌14日のソウルでは、市民団体や韓国反核医師の会(DAN)の人たちと交流した。日本からは、広島共立病院の青木克明先生が「福島原発事故と日本国民への健康への影響」と題する講演を行った。甲状腺がんの検診データをもとに、福島の現状

----- (3面につづく)

----- (2面からつづく)を報告し、今後の被害の広がりが危惧されることを説明した。市民からは強い関心があり、質問が相次いだ。

韓国でも、国が原発周辺の住民健診を行っており、その報告がDANの医師からあった。女性の甲状腺がんの発生が高いデータが出ているのに、政府は無視していると主張していた。

3日間の韓国旅行は有意義なものであったと思う。短時間ながら、韓国の歴史や文化にもふれ、またガイドの女性からは、市民の目線からの平和への思いも語っていただいた。東アジアが緊迫した状況にある今、草の根の反核・平和運動の交流は、ますます重要になってくるだろう。また会う日を楽しみに、お互いの健勝を祈って別れた。



韓国の歴史や文化にもふれた(上)、竹島聖堂前での記念撮影(下)

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



電話 078-393-1817/FAX 078-393-1802 e-mail ntm@doc-net.or.jp 担当 ; 納富まで

開業医手作り 健康情報 月替わり健康情報 テレホンサービス

☎ 0120-979-451

9月のテーマ 患者さんにオススメください!

- 【月 曜】 女性のクラジミア感染症
- 【火 曜】 高齢者の口腔ケアのポイント
- 【水 曜】 足首の捻挫
- 【木 曜】 無料低額診療事業とは
- 【金土日】 認知症のはじまり

保団連発行パンフ

『NO NUKES! 原発ゼロの日本を』



原発ゼロを求める署名とあわせて、月刊保団連8月号に同封してお届けしています。ぜひ活用ください。

追加注文は ☎ 078-393-1807 まで